

# 日本万引防止システム協会 通常総会開催 逸失利益改善を目指すことを確認

2019年6月6日、工業会 日本万引防止システム協会（JEAS）の令和元年通常総会が開催され、次の新任人事が議決された。

会長／稲本義範氏（高千穂交易）、副会長／近江元氏（NPO法人全国万引犯罪防止機構）、理事／雑賀真良氏（オカムラ）、山本健二氏（グローリー）、松田栄治氏（アクシスコミュニケーションズ）、顧問／井出尊信氏（高千穂交易）。



2018年度事業報告では、映像データの利活用についてまとめた冊子「顔画像を利用した来店客検知システム～安全・快適なお店づくりのために」の作成や、万引対策に関わる基礎知識を学ぶJEAS講習会の実施などについて報告された。

2019年度の事業予定は、テーマを「ご満足度向上と市場拡大～運用面強化、新市場開拓、各システムの相乗効果を目指す～」とし、JEASの認知度向上や、万引防止システムの理解を深める活動、RFIDの動向調査やソースタギングの事例研究などのほか、新たな取り組みとして中国での展示会、現地小売業、企業訪問視察などの予定が発表された。

2019年6月現在のJEAS正会員は30社。万引撲滅を通して、犯罪の起きにくい社会の実現と、企業の逸失利益改善を目指していく。